

市の概要

所在地 〒035-8686 むつ市中央一丁目8番1号 TEL(0175)22-1111 Fax(0175)23-5178 ホームページ http://www.city.mutsu.lg.jp Facebook https://www.facebook.com/mutsu.city	姉妹都市連携 S59. 9.23 会津若松市(福島県) H 7. 8.13 ポート・エンジェルズ市(アメリカ合衆国)
首長 市長 <small>みやした そういちろう</small> 宮下 宗一郎 副市長 鎌田 光治 第1期(任期:H26.6.29~H30.6.28)	沿革 S34. 9. 1 大湊町、田名部町が合併して『大湊田名部市』が誕生 S35. 8. 1 市の名称を『むつ市』へ名称変更 H17. 3.14 平成の大合併により川内町、大畑町、脇野沢村がむつ市へ編入し、新『むつ市』が誕生

※副市長については、H30.4.1より2人制へ移行

(平成30年3月末現在)

キャッチフレーズ

「笑顔かがやく 希望のまち むつ」(平成29年3月策定『むつ市総合経営計画』より)

市章



ひらがなの「むつ」を図案化し、融和と飛躍発展を象徴したものです。

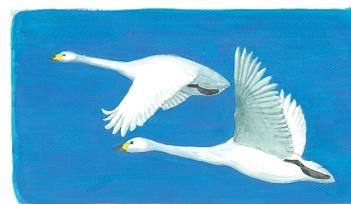
花・木・鳥 (平成21年9月1日制定)



市の花 はまなす



市の木 ひば



市の鳥 はくちょう

市のあゆみ

明治22年「市制・町村制」の施行開始により、各地域が合併・統合されて田名部村、大湊村、川内村、大畑村、脇野沢村(現在のむつ市)が誕生しました。さらに、明治32年に田名部村、大正6年に川内村、昭和3年に大湊村、昭和9年に大畑村はそれぞれ田名部町、川内町、大湊町、大畑町になりました。

戦後(昭和30年以降)、田名部町は下北地方の政治・経済・交通の中心地として成長し、大湊町は海軍水雷団の設置以降、自衛隊基地として発展を遂げましたが、昭和34年9月1日に合併して「大湊田名部市」が誕生し、翌年8月1日にはひらがなの「むつ市」と改称しました(全国初)。

「まちづくり」構想として、①人口10万人を擁する都市計画の策定 ②田園工業都市の建設 ③新市10ヶ年計画の策定 ④融和と親愛の市制 の4点を掲げてスタートしました。それ以降、下北半島を一周する道路の国道への昇格(国道279号、国道338号)、原子力船「むつ」(現在は、世界最大級の海洋地球研究船「みらい」)の関根浜新母港の完成をはじめとして、むつはまなすラインの開通、アツギむつナイロン工場の誘致、下北地域広域市町村圏の発足、下北地域広域行政事務組合及びむつ地区環境整備組合の設立など各種施策に努めてまいりました。

特に昭和46年に発足した「下北地域広域市町村圏」は、下北郡のみならず上北郡の野辺地町・横浜町・六ヶ所村の3町村が参加したものであり、それ以降の消防・し尿処理・福祉施設・医療センターといった広域行政へと発展を遂げ、現在もなお脈々と息づいています。このことから、むつ市は下北地方の中核都市として重要な役割を果たしてきたとも言えます。

平成の時代に入ると、むつ市は帆立(ホタテ)養殖等の漁業を中心としたまちづくりを進めてきた川内町、室町時代から続いている檜葉(ヒバ)材搬出等の林業及びイカを中心とした漁業等によりまちづくりを進めてきた大畑町、鱈(タラ)とともに歩みまちづくりを進めてきた脇野沢村の3町村と合併し、平成17年3月14日新しいむつ市が誕生しました。



ムチュラン・ファミリー

ムッシュ・ムチュラン I 世
 マダム・ムチュリー
 プリンセス・ムチュリン

承認番号 2018006L号



下北ジオパーク・ロゴ

平成28年9月9日、下北ジオパークが日本ジオパークに認定されました。

おもてなし規格認証

おもてなし規格認証とは、サービス品質の「見える化」を目的として経済産業省により創設された認証制度で、職員の接客対応力や施設の安全管理、職員間の情報共有など各分野あわせて30項目のうち15項目に該当すれば取得できます。むつ市役所は19項目において該当しており、平成30年4月18日付けで「紅」認証を取得しました。

